

平成26年度 九州地方整備局 新技術評価技術一覧

【事後評価】

評価区分の定義(活用効果評価)

実施要領 3.5 新技術の活用促進

評価区分	内 容
活用促進技術	活用効果評価において、それぞれの評価会議が選考し指定するもの <選考要件> イ 総合的に活用の効果が優れている技術 ロ 特定の性能又は機能が特に優れている技術 ハ 特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される技術 ニ その他評価会議が選考し指定する技術
-	上記以外

九州の技術:九州において開発されたNETIS登録技術

	技術名称	評価区分	継続調査	備考
1	スタビミキサー工法 【SK-010014】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 軟弱地盤処理工
2	HPロックトーン工法 【CB-990009】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 構造物とりこわし工
3	粉じん捕集工法 【KT-060031】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 構造物とりこわし工
4	自動監視システム「観測王」 【KT-060036】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類: 分析・予測システム
5	角型地中埋設管 カクフレキ 【CB-060033】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 電線共同溝工
6	エフツインジェット工法 【QS-040034】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類: 深層混合処理工
7	ファイバードレーン工法 【CG-990065】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 軟弱地盤処理工
8	Geo-KONG工法 【KT-990271】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類: 軟弱地盤処理工
9	N&H強制圧密脱水工法 【KT-990246】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類: 軟弱地盤処理工
10	超軟弱土固化処理工法 マッドミキサーM-I型 【QS-980053】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類: 軟弱地盤処理工
11	超軟弱土固化処理工法 マッドミキサーM-II型 【QS-980054】	活用促進技術	継続調査の必要性あり -VR	分類: 軟弱地盤処理工
12	ロードクリニック 【QS-030047】	活用促進技術	継続調査の必要性あり -VR	分類: 分析・予測システム
13	Dコラム工法 【QS-090001】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 深層混合処理工
14	太平洋カルストーン(人工軽量盛土材) 【CBK-040001】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類: 盛土工
15	ラクナ・IV 【HRK-080001】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類: 消波ブロック工

	技術名称	評価区分	継続調査	備考
16	縁石分割可能型側溝ブロック【QS-050002】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:排水構造物工
17	SCM工法【SK-020004】	活用促進技術 (ロータリーブレンダー方式のみ)	継続調査の必要性なし -VE	分類:軟弱地盤処理工
18	FDEM探査【KK-050083】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類:地質調査
19	リテラ(BZ210・BZ200・BZ120)【KK-980067】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:安定処理工
20	ALiCC工法【KT-070009】	-	継続調査の必要性あり -VR	分類:深層混合処理工
21	SAVE-SP工法【SKK-090002】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:陸上地盤改良工
22	超低騒音仕様油圧ブレーカNEW Sシリーズ【CG-100029】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:構造物とりこわし工
23	コアチゼルを用いた油圧ブレーカGH・GHEシリーズ【CG-110008】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:構造物とりこわし工
24	折りたたみ式飛散防止ネット「作柵(サクサク)」【CB-120003】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:構造物とりこわし工
25	ハンドブレーカーの防音カバー『富士ZET』【KK-110057】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:構造物とりこわし工
26	GIコラム工法【QS-100022】	活用促進技術	継続調査の必要性なし -VE	分類:深層混合処理工
27	キャスポル【KK-980055】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:地質調査
28	コマシートシルバー【HKK-110007】	-	継続調査の必要性なし -VE	分類:消波工